

櫛だより

2019. 5. 16



ついに来た、ニューヨーク!

今日は10連休中に行ったニューヨークのお話をします。1日だけですが、マンハッタンを一人で歩き回りました。あとの二日は毎年2月に本校にやってくるCGS (Center for



ノーウオークにはこんな広い庭のある家が一杯です。

Global High School, コネチカット州ノーウオーク市にあります)へ行ってみて、授業を見たり生徒や先生方と話したりしました。CGSのシグムンド先生のお宅に泊めていただいたので、アメリカ東海岸の一般家庭の生活を体験できて感激でした。



シグムンド先生のお宅のダイニングルーム。

ノーウオーク市は日本とほぼ同じくらいの気候で、ちょうど八重桜が満開でした。新緑の林がどこまでも広がり、その中に個性的な美しい家が散在しています。アメリカの豊かさを実感しました。

ニューヨークまでは直行だと13時間余りで行きますが、少々節約をしてテキサス州ダラス経由で行きました。ダラス国際空港は驚きの広さです。ターミナルが10もあり、それぞれのターミナルに約20のゲートがあって、それらはSkylinkという電車につながっています。帰国便は乗り換えに1時間しかなかったのですが、グズグズしていたら乗り遅れてしまうところでした。



グラウンドゼロ。囲いの表面にはなくなった人の名前が刻まれている。

ニューヨークで降り立った空港はラガーディア国際空港でした。ホテルは空港の近くだったので、マンハッタンへは地下鉄7番線の急行に乗れば30分くらいです。初めてのニューヨークの地下鉄は少しどきどきしましたが、事前にネットで乗り方を調べていたので案外簡単に乗れました。3ドルで2時間以内なら乗り換え自由でどこでも行けます。ホントに便利です。

マンハッタンではグランドセントラル駅からタイムズスクエアへ行き、そこからタクシーでワールドトレードセンターメモリアル(グラウンドゼロ)に行きました。あの言語に絶する同時多発テロで3000人近い人が亡くなってから、

もう 18 年が経とうとしています。倒壊したビルの後に造られた池には中央の穴に向かって水がしぶきをあげながら途絶えることなく流れ落ちていき、その響きはいつまでも耳の奥に残って、恐怖に似た不思議な厳粛さに包まれてしばらく言葉もなく立ち尽くしました。

その後、紀伊國屋書店、メトロポリタン美術館へ行き、セントラルパークを少し歩いた後、7 番街 34 丁目にあるメイシーズデパートまで行きました。

たった一日でしたから、あまり沢山は観光できませんでしたが、メトロポリタン美術館はやはり素晴らしかった。アメリカの、いえ、世界の美術館は展示品の写真撮影は OK です。(フラッシュはダメ。) 日本のように撮影禁止のほうが珍しいんです。私もあれこれ写真に撮りました。

でも、ニューヨークで一番楽しかったのは、人との出会いでした。中でもタクシーの運転手さんたちは最高です。2 回乗って、一人はナイジェリア人、一人はバングラデシュ人でした。ニューヨークのタクシーの運転手は、ほぼ外国人

人と思っていいかもしれません。私は中学の頃、地理が好きだったので、今でもナイジェリアは周囲をニジェール、ブルファナキソ、ペナン、カメルーン、チャドに囲まれているとすぐにわかります。だから、それらの国の名前を言っただけで、運転手の彼は大喜び。グラウンドゼロまでの 30 分間、道案内をしてくれたり、「なんでマンハッタンに泊まらなかったんだ、安いところも沢山あるのに」と残念がってくれたり、とにかく楽しい人でした。下車の際は手を差し出してきたので、私も握手してチップを沢山はずみました。



メトロポリタン美術館。以前は入館料は寄付だったけれど、今年 3 月から義務化して大人 25 ドル、学生 12 ドルに。



タイムズスクエア

タイムズスクエアでは道が分からなくて、道路工事の人達に地図を見せるとああだこうだと話し合い、3 ブロック先だと教えてくれました。メトロポリタン美術館でも、見たい絵が見つからなくて困っていると、すぐに係員が話しかけてきて場所を教えてくれます。みんな気さくで親切な人ばかりで、初めてのニューヨーク一人旅を満喫することができました。

外国には度々行きますが、やはり言葉は大事です。多く話すことができれば、それだけ出会いは沢山あり、より親密な関係を築くことができます。けれども完璧に話す必要はありません。私も決して上級者ではない。ただ、間違いなど気にせず話すのに慣れているので、コミュニケーションに困ることがないだけです。大切なのは理解しよう、伝えよう、勉強しようという気持ちだと思います。また、何事にも興味を持って色々な知識を身につけておくことも大切です。それがコミュニケーションのきっかけになるからです。言葉も文化も違う国に行くのです。通じなくて当たり前。だから通じると嬉しくなる。また勉強しようと思う。そんな経験を生徒達にもしてほしいと思います。